



2024.2.20 & 2.23 大宮公園2023年度モニタリング報告会

かいぼり後の舟遊池の

外来種アメリカザリガニとアカミミガメの状況

～2023年6月から法規制も始まった！～

発表：片岡 友美（生態工房）





アカミミガメ

1960年頃からペットとして広く流通した。
野外に800万匹生息（2016年 環境省）

水草、水鳥、レンコンなどに被害



アメリカザリガニ

1927年ウシガエル養殖の餌として神奈川県に持ち込まれた。

水草、二枚貝、水生昆虫に被害
溜池や水路の堤体破壊

！ 逸出や人為放流により、各地で蔓延している
！ 水生植物への悪影響や農業被害が出ている

2015～2022年度 環境省による対策の状況

- ▼生態系被害防止外来種リスト【緊急対策外来種】に指定
- ▼対策推進検討ワーキンググループ発足
- ▼防除マニュアル作成、防除モデルの実施、普及啓発ツール作成等



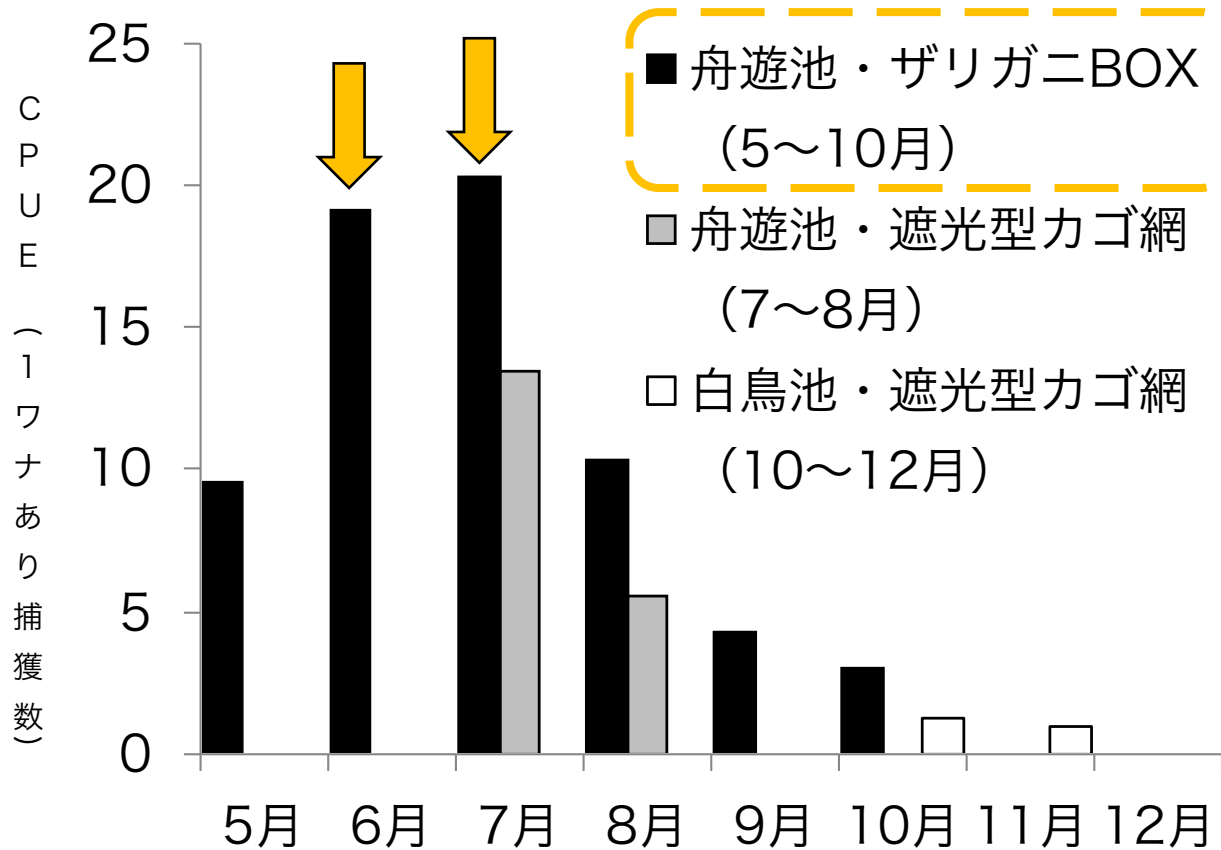
2種類のワナで捕りました

場所	捕獲期間 (2023年)	池全体に仕掛けたワナ数		駆除数 合計
		【ザリガニBOX】	【遮光型カゴ網】	
舟遊池	5月～10月	13～34個	19～26 個	9,942 匹
白鳥池	10月～12月		12 個	79 匹





2023年の【池・ワナ別】CPUE

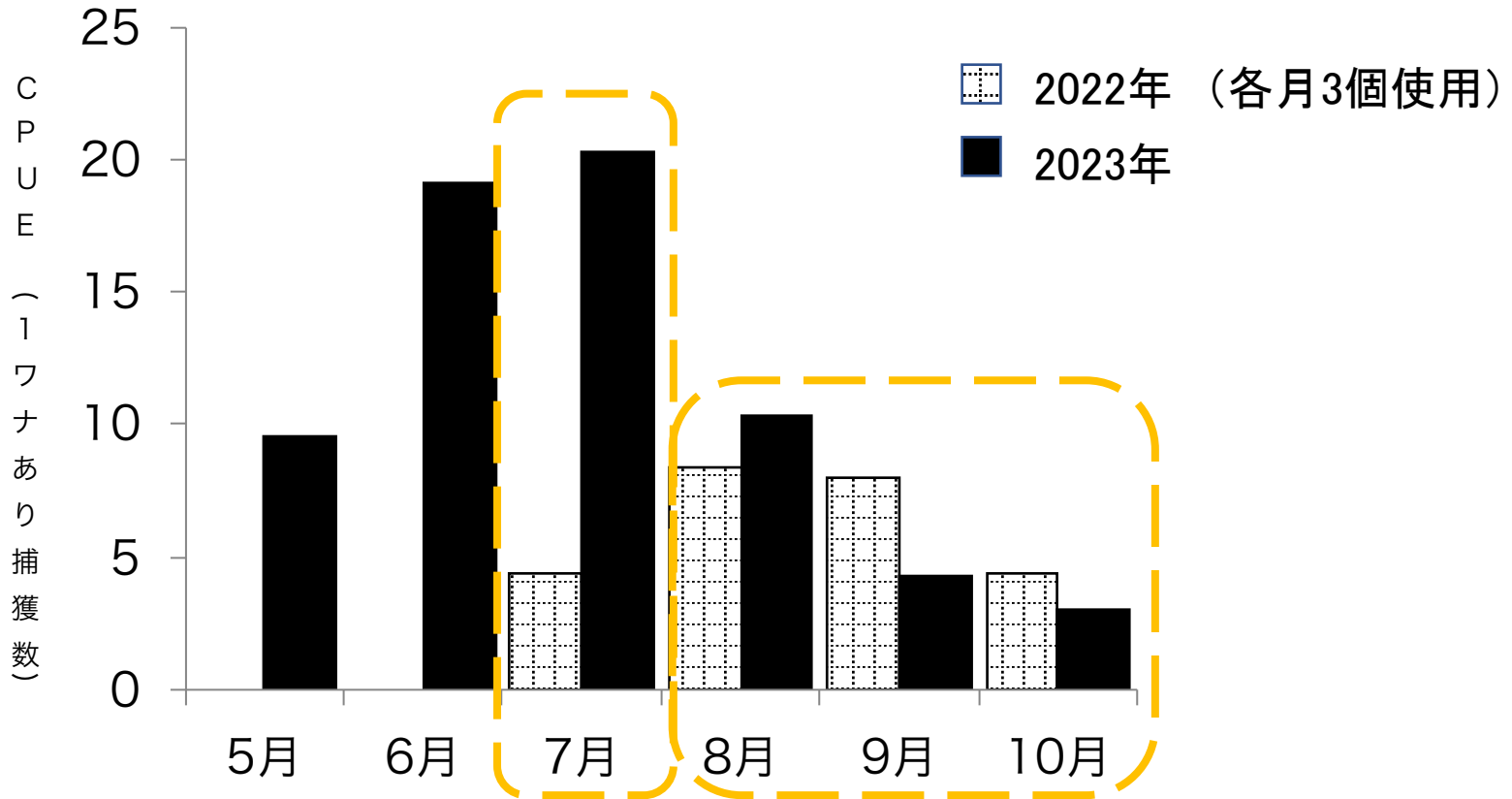


▼ 6~7月はCPUEのピーク →最も効率的に捕獲できる期間

▼ 遮光型カゴ網よりもザリガニBOXの方が捕獲効率が良い



舟遊池における【ザリガニBOX】のCPUE



▼ 7月は2023年のCPUEの方が高い → 前年より高密度化、原因不明

▼ 8月～10月は同程度または減少 → 年変動 or 駆除効果？



ザリガニの生息状況・防除の考え方

- ▼ かいぼり後(2023年)に、ザリガニが増加したか？
増加したとしても、今は原因不明。年変動かもしれない。

- ▼ 2023年の駆除効果が見えてくるのは2024年以降である。

< 駆除効果の指標 >

ザリガニCPUEの低下、ザリガニ頭胸甲長の低下、池の植生回復など

- ▼ ザリガニBOXは遮光型カゴ網よりも効率的に捕獲できる。
全体的に6月～7月に防除努力量を最大化した方が良い。

< 捕獲努力量を増やす方法 >

ワナ数の増加、捕獲回数増加



舟遊池における2022年、2023年の捕獲数

捕獲方法	2022年 7月・9月・11月	2023年 5月～11月
張網	3 匹	15 匹
カニカゴ	25 匹	—
かいぼり	2 匹	—
日光浴ワナ	—	17 匹
遮光カゴ	—	4 匹
手捕り	—	3 匹
計	30 匹	39 匹

舟遊池で効率の良いワナ

- ① カニカゴ
- ② 日光浴ワナ
- ③ 張網

—: 実施無し





アカミミガメの生息状況・防除の考え方

- ▼ 野外の目視も考慮すると、アカミミガメの密度はかいぼり前と同程度のように思われる。(推測)

- ▼ 2023年の駆除効果が見えてくるのは2024年以降である。

< 駆除効果の指標 >

カメCPUEの低下、甲長サイズの小型化、池の植生回復など

- ▼ 当池での捕獲手法は、張網モニタリングの継続と日光浴ワナ(ワナ数の追加もやや有効)で効率的に捕獲できる。

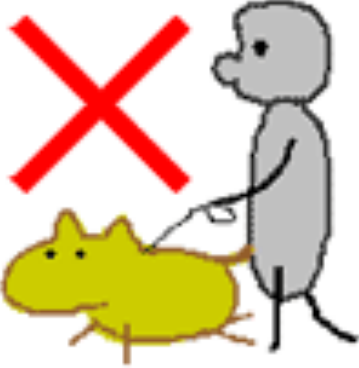


【条件付】 特定外来生物



流通と野外放出を禁止する

飼育／栽培



運搬



保管



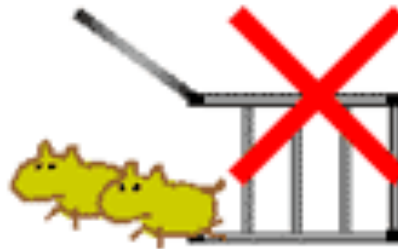
非営利・大量でなければ飼育や譲渡はOK

個人：3年以下の懲役または300万円以下の罰金
法人：最大1億円の罰金

輸入



野外に放つ
／植える／まく



許可を受けていない者に対する譲渡し／引渡し



販売NG



規制されても対策は必要



2023年6月から 条件付特定外来生物に指定

1) すでに野外にたくさんいる

- 「防除の術がない」、「もはや手遅れ」という声
- ~~子どもが犯罪者（法律違反）になる!?~~

多様な主体による
防除の推進、技術開発

2) 飼育者がいっぱい

- 野外放流のリスクがある
- 登録手続きで、環境省がパンク

普及啓発を推進
終生飼養の徹底

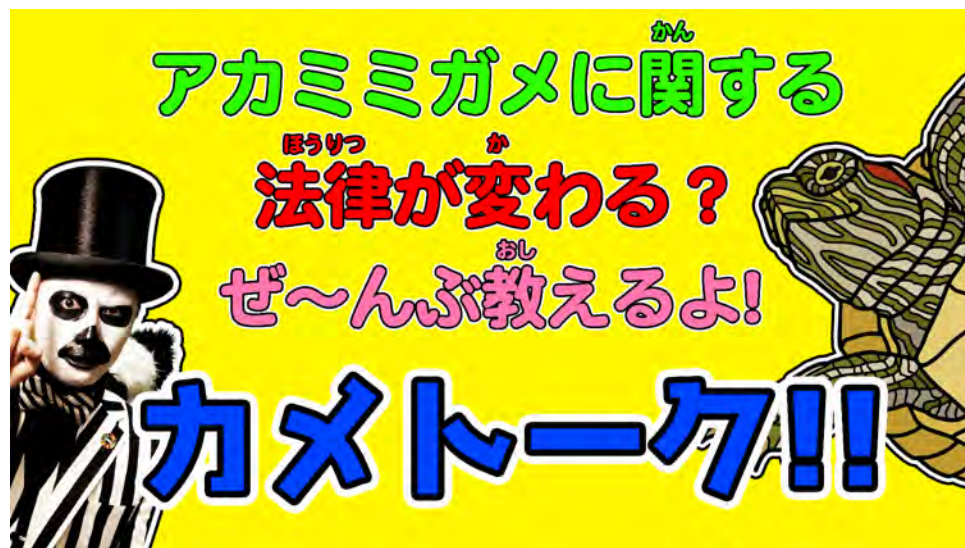
3) 市民権を得ている

- 学校教材、絵本の題材になっている
- 自然学習や環境教育の素材になっている

次世代への教育
昭和世代の価値観の転換

2022年

【環境省 * WoWキツネザル * 生態工房】で動画作りました



【環境省YouTubeチャンネル】で公開中！

大きくなっても いっしょにいるよ

ぼくのおうちにいる 北アメリカ原産の
ミドリガメ (ミシシippiaカミミガメ)。
日本では飼ひ主に捨てられたり逃げ
出したカメが野外で増えて、いろいろ
問題をおこしているんだ。
だから、
ぼくはずっといっしょにいるよ。

おうちのカメは大切に飼ひ続けよう!



環境省HPやTwitterからダウンロード可

入れない! 捨てない! 掘げない!

アメリカザリガニ

Procambarus clarkii

危険度: ●●●●●
分類: 甲殻綱エビ目ザリガニ下目アメリカザリガニ科
原産地: アメリカ南東部-メキシコ北東部
体長: 10cm / 寿命: 4-5年
その他: 「生態系被害防止外来種リスト」で「緊急対策外来種」に選ばれているが、飼育されている個体が多いため、ボイ捨てが心配されて外来ザリガニとしては特定外来生物に唯一未指定。

- ・田んぼ、用水路、池、沼、堀など流れのない浅い水辺に生息
- ・水草、魚類、両生類、水生昆虫、貝などにかく何でも食べる
- ・繁殖力が強く、ドブ川のようなバッチい水でもヘッチャラ

ハサミ 櫛物を切る、引き抜く
えものをつかむ
巣穴をほるなど
使い方いろいろ

アメリカザリガニの子供だよ

味だ! ニンゲンザリガニかな?

みんなにとつて身近だけれど実は特定外来生物級のヤバイやつなのだ

脚 泥を巻き上げ、水草の生長をさまたげる

水質が汚れる!

田んぼのイネが!

ちぎんちぎん!

ニホンザリガニに病気をうつして大量死させることがあるよ

ハイ!

- ・ため池の土手や田んぼのあぜに穴を掘って壊す
- ・アメリカザリガニが増えた池は水草や水生昆虫が減り水質にごる
- ・生活の場をうばったり、食べたりしてしまい、希少な生きものを減らしてしまう